

<金標準、円安の恩恵だけでは高値更新は難しい・・・>



(出所：オアシス)

上海黄金交易所のロンドン価格との価格差が狭まり、前月の地金引き出し量が82トンと前月の131トンから減っていたことから、中国の金需要の減少が見られ、金のセンチメントは多少悪化を示す中で、小売売上高に週間新規失業保険申請件数、フィラデルフィア連銀製造長景気指数、住宅着工件数等が事前予想を下回るなど景気抑制が示され、FRBの利下げ回数への思惑が9月の利下げ確率を押し上げ、11月の利下げを織り込むなど、年2回の利下げ織り込みを見せ金価格は押し上げられている。

しかし週末に発表された非製造業PMI・速報値が2022年4月以来の高水準を示し、またフランス総選挙を控えて、金利は高止まりを示す動きを見せたことから、前日の上昇幅を消している。特に為替市場では、日銀の曖昧な国債買い入れ削減策の出し惜しみが嫌気され、円ドルは一時159.80円まで円安が進み介入水準でもある160.17円に近付いている事を考慮すると目先12000円で抵抗を強める値動きに思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDはMACDが切り上げだし、シグナルも切り上げている。RCIでも短期が高止まり、中期も切り上げており、オシレーターは強気を示唆しているが、10日移動平均線と40日移動平均線の伸びを欠いており11800円に近づく気配に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 6 月 24 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 6 月 24 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>